

確認しよう!津波避難行動

4月3日、台湾で発生した地震により、沖縄県すべての沿岸部に津波警報が発表されました。沖縄市でも多くの方が避難をしましたが、車で避難された方も多く、道路が渋滞するなどの混乱も生じました。

津波避難の方法を改めて確認し、「自分の命」「家族の命」「地域の命」をみんなで協力して守りましょう!



津波ハザードマップ

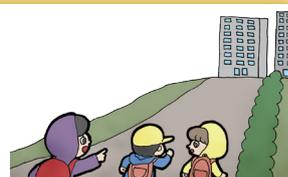
避難は原則徒歩!!車での避難はやめましょう

歩ける方は原則、徒歩で避難してください。車での避難は渋滞が発生する恐れがあり、逃げ遅れる可能性があります。また、緊急車両が通行できなかつたり、車での避難が必要な要配慮者等が避難できなくなる可能性があるため、徒歩で避難を行いましょう。



より早く、より遠く、より高くへ

時間的に猶予がある場合は、安全な指定緊急避難場所や遠くの高台を目指しましょう。時間がないときは津波避難ビルなどの高い建物へ垂直避難をしましょう。



声かけ助け合い

お隣の人など避難していない人がいれば「津波がくるぞ!」などの声をかけ避難を促しましょう。支援が必要な方がいれば、まわりの方々と協力して避難の支援をしましょう。



運転中に大津波警報・津波警報が発表されたら...

緊急車両など通行の邪魔にならない場所に車を止め、エンジンを切り鍵は付けたまま徒歩で避難しましょう。

どこへどのように避難するかを前もって決めておきましょう

家族で話し合い避難する場所や、避難する際の持ち物、連絡方法等を事前に決めておきましょう。



警報と注意報の違いをしっかりと理解しておきましょう

大津波警報・津波警報

津波の高さ

- 大津波警報(3m以上)10mを超える場合あり
- 津波警報(1m~3m)

避難が必要なエリア

- 津波避難対象地域

取るべき行動

- 1 揺れがおさまったら、ただちに避難!
- 2 歩いて避難!
- 3 「より早く」「より高く」「より遠く」へ避難!
- 4 避難したら戻らない!
- 5 情報を集める!

津波注意報

津波の高さ

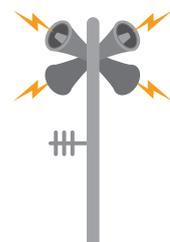
- 津波注意報(0.2m~1m)

避難が必要なエリア

- 海岸堤防等より海側

取るべき行動

- 1 海の中にいる方や海上にいる方は、ただちに海から上がり海岸から離れる。
- 2 陸上にいる方
 - 海岸に近づかない
 - 今後の情報に注意し、警報に備え避難の準備をする。



風水害への備え



気象情報に注意
しましょう!!



これからの梅雨や台風シーズンに向け、
雨や風が強くなる前に、家の外と中の
備えの確認をしましょう!!

家の外への備え

側溝や排水溝を掃除する
掃除をして水はけを良くして
おきましょう



倒れそうな物を固定する
プロパンガスや庭木などが
しっかり固定されている事を
確認しましょう

飛ばされそうな物は片付ける
植木鉢等は、固定するか
家の中へ片付けましょう

雨戸や網戸は固定する
窓や雨戸はしっかりと鍵をかけ、
必要に応じて補強しましょう

家の中への備え

停電への準備
スマホ等の充電や照明器具、
モバイルバッテリー等を用
意しましょう



水の確保をする
断水に備えて浴槽に水を
張って生活用水を確保し
ましょう

非常用品を確認する
食料や飲料水、懐中電灯
やラジオ、救急薬品、衣類、
貴重品等



家庭内備蓄は、3~7日分を備蓄しましょう



窓ガラスの対策
万一の飛来物で窓ガラスが
割れた際、ケガを防げます
カーテンは、閉めましょう

土砂災害に備える

土砂災害から身を守る

危険な場所を点検し、防災情報を収集するなど日頃の備えを万全に
いざとなったら「早めの避難」を心掛けましょう

